

差出人: 樋口明朗 <ar-higuchi@jcom.home.ne.jp>
送信日時: 2020年12月14日月曜日 20:46
宛先: 樋口 明朗 1
件名: 西東京三田会通信第100号

西東京三田会通信第100号(2020.12.15)

本通信は西東京三田会にメールアドレスを開示してくださっている方に配信しています
(内容はホームページ <http://nishitokyo-mitakai.net/>との重複分を多く含みます)

以降の配信停止をご希望の方は、ar-higuchi@jcom.home.ne.jp へ

☆:::INDEX:::☆

1. この「通信」第100号です
2. 西東京三田会 この暦年の1年
3. 連載: 会員識者(中村邦彦医師)によるコロナウィルス情報(3)
4. その他 : 会員動向、その他

☆:::INDEX:::☆

新型コロナウイルス感染症の収束に向けて個々人の対応が正念場です

◎◎◎.*.....*° ◎◎◎

1. この「通信」第100号です

◎◎◎.*.....*° ◎◎◎

2012年(平成24年)9月15日、勝手に開始しました
INDEXの第一は、“「西東京三田会通信」を試行してみました”、でした
お決まりの配信停止希望処置をはじめから付していました
でも、ここまで8年3か月、配信停止希望者は10人に満ちません

たまたま会計役兼事務局役で役員会の片隅で会内状況を知るとともに
会内サークルには、ゴルフやカラオケ、作品展など苦手のものを含め
様子を知るべく記者魂でできるだけ参加するなどして続けてきました

本通信は、会内の、全体及びサークルの「活動」予定や実績をお知らせし、
会員「活動」の活性化、振興を図ることを狙ったものです
「活動」が見通せない今後については.....です

◎◎◎.*.....*° ◎◎◎

2. 西東京三田会 この暦年の1年(令和2年1月~12月)

◎◎◎.*.....*° ◎◎◎

西東京三田会は事業年度として、4月~翌年3月を採用しています
令和元年度(2019年度)は平成31年4月~令和2年3月で、
令和2年度(2020年度)は令和2年4月~令和3年3月です

令和元年度は順調に推移してきて期末には翌期総会準備に入るところでした
しかるにご承知のとおりコロナ騒動です、分岐点は令和2年2月でした
令和2年2月~令和3年3月(予定)のまるまる1年はほぼ「空白」です

暦年令和2年のいままでの西東京三田会の活動は
令和元年度最終期: 令和2年1月の役員会、新年会、麻雀会、新年会交流
その後は8月のブルーベリー摘み会、年末のニュースレター発行のみ

令和2年度の残り、令和3年1月～3月も活動の見通しがありません
令和元年度と2年度の決算等は令和3年総会（可能なら）に提示予定です

◎◎◎.*.....*°◎◎◎

3. 連載：会員識者（中村邦彦医師）によるコロナウイルス情報（3）

◎◎◎.*.....*°◎◎◎

前99号にてコロナウイルス情報（4）を先に掲載してしまいました
ここにお詫びし、感染「対策」関係の、情報（3）を掲載します
なお、本シリーズは西東京三田会ホームページにも掲載しています

今回は感染対策についてです。COVID19の飛沫感染と接触感染が主な感染経路です。

飛沫感染の対策は以前にも述べましたが、基本的にはマスクの装着が何よりも大事です。飛沫はくしゃみや咳で飛び散るものですが、その距離はおよそ1～2mとされています。ですので、よく言われているソーシャルディスタンス（社会的距離）を取りましょうというのは、2mと定められています。これはマスクをしていない場合なので、お互いがマスクをしている場合で短時間であれば、もう少し近い距離で接してもおそらく大丈夫ということになります。室内で問題となっているのは、エアロゾル感染です。これは、換気の悪い所ではウイルスの粒子が床に落ちず数時間に渡り漂い、これを吸い込むことによって感染するものです。空気感染は、ウイルスがどこまでも空気中を漂い、10m以上離れても感染する場合があります。エアロゾル感染とは違います。海外の報告ではCOVID19で空気感染があったとされているものもありますが、海外では空気感染とエアロゾル感染の定義が曖昧なためです。COVID19では、空気感染はないと思っていただいて構いません。エアロゾル感染の対策は、換気が極めて有効です。室内の全ての場所で空気の停滞を避け、換気口（窓や換気扇）へ向かって空気の流れを作ることが大事ですが、いろいろな方法（サーキュレーターの使用など）がメディアで取り上げられていましたので参考にさせていただくのがよいと思われます。

接触感染については、顔にウイルスを付着させないことが重要です。外出時には何かを触ったら自分の顔を触らない、こまめに手洗いをする、あるいは手を消毒することが勧められます。帰宅時には室内にウイルスを持ち込まないために、まず手洗いを洗い残しがないように15秒以上かけて十分にすることがよいとされています。手洗いの方法も、メディアで何度も取り上げられていると思います。さらに環境中のウイルス排除も重要ですが、これには消毒剤によるふき取りが有効です。ただの水拭きは、COVID19と同じコロナウイルスによる感染症のSARSでホテルの同じフロアを水拭きで掃除したことにより感染を広げたことがありましたので勧められない可能性があります。消毒剤としては70～80%アルコールや約0.05%次亜塩素酸ナトリウム（ハイターで作製可能）が医療機関ではよく使用されていますが、家庭用家具・台所洗剤（バスマジックリンやかんたんマイペットなど）でも代用できます。これらはあくまで拭き取り用で、空气中噴霧はするべきではありません。空气中噴霧の有効性は認められていませんし、かえって吸い込むことにより呼吸器を傷める可能性があります。

最後に、話題になりましたポピドンヨード製剤（イソジンなど）について述べたいと思います。ポピドンヨードは皮膚や粘膜などの消毒剤として医療現場では手術や処置で頻用されているものです。その効果は極めて高く、一定時間、使用された表面からほぼ完全にウイルス・細菌を除去することが可能です。これは吉村大阪府知事の言うように嘘のような本当の話ではなく、医療現場では当たり前のことです。ですが、決してウイルスに対する治療効果や予防効果は一切ありません。また作用時間は永続ではなく一定時間ですので、吉村知事の勧めたポピドンヨード製剤による感染予防をしようとしたら、日に何度もこれによるうがいをしなければなりません。ポピドンヨード製剤の効果は強力ですが、過剰使用は粘膜の傷害を引き起こします。

◎◎◎.*.....*°◎◎◎

4. その他 :

◎◎◎.*.....*°◎◎◎

*. 塾監局塾員センター課長交代の件

11月1日付にて北村和夫氏の後任として中里史朗氏が着任しました
三田会関係の塾との連絡先については唯一塾員センターだけです
北村様には大変お世話になりました、ありがとうございました
中里様どうかよろしくお願ひ致します

*. ニュースレター25が配信予定です

ニュースレター25が編集委員諸氏のご努力で作成されています

12月27日に発送作業が行われます

***. 三田評論、三田ジャーナル記事**

- ・ 三田評論 11月号
特集：歴史にみる感染症、特別鼎談：コロナ禍の不安とともに
その他：歴史・文学関係感染症関連記事6件ほか
- ・ 三田評論 12月号
特集：脱オフィス時代の働き方、座談会：テレワークと働き方
その他：テレワーク関係関連記事4件ほか
- ・ 三田ジャーナル 11月
三田会だよりにオンラインミーティング報告が2件あり
その他：実現しなかった連合三田会大会関係が主

***. 令和3年の新年会は中止です、コロナを克服し、よい年をお迎えください**

=====
西東京三田会 <http://nishitokyo-mitakai.net/>

本メールに掲載されているすべての記事等の文責は樋口にあります。